

令和元年度第2回射水市自転車活用推進研究会

日時 令和2年2月26日（水）
午後7時～

場所 射水市役所会議室202

次 第

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 自転車活用推進に向けた検討の進め方について

(2) その他

4 閉会

【説明資料】

資料 自転車活用推進に向けた検討の進め方

【参考資料】

参考資料1 令和元年度第1回射水市自転車活用推進研究会 会議録

参考資料2 射水市地域公共交通網形成計画（案）抜粋

自転車活用推進に向けた検討の進め方

1 課題と検討の方向性

本市では、他の地方都市と同様、モータリゼーションの進展に伴い、郊外に立地する大規模小売店舗や施設等が増加する一方で、既成市街地での商業施設等が減少するなど、都市機能が拡散し、自家用車への依存が一層高まっています。

一方、地域経済の活性化を図るためには、過度に自動車に依存することなく、公共交通等のかしこく活用して、通勤や通学、通院や買い物などの日常生活の移動だけでなく、来訪者（市外から通学する学生や観光客など）などに市内のまちなかエリアを回遊してもらうように促していく必要があります。

そこで、公共交通利用者の移動範囲が徒歩圏内に限定されることから、公共交通と自転車を組み合わせて活用することで移動範囲を広げ、ローカルスポットへ誘導していくことが考えられます。

2 検討の仕方

(1) 設定エリア

次のエリアを中心に、おいしいものや楽しいことなどのおすすめのスポットや移動しやすいルートをポタリングマップにまとめます。

- ・ 新湊市街～湾岸沿い
- ・ 小杉駅周辺～太閤山ランド

(2) 検討項目

- ア ローカルスポット等
 - ・ グルメスポット
 - ・ 伝統的な町並みや自然環境 ほか
- イ レンタサイクル等の活用や適切な自転車の種類
- ウ グルメサイクリング等とのすみ分け
- エ 周知方法 ほか

3 スケジュール（案）

令和2年度 3回

- ・ 4月～5月頃
- ・ 7月～8月頃
- ・ 10月～11月頃

令和元年度第 1 回射水市自転車活用推進研究会 会議録

1 開催日時

令和元年 10 月 3 日（木）午後 7 時～午後 8 時 30 分

2 開催場所

射水市役所（本庁舎）2 階会議室 201

3 出席者

委員 岩田会長、荒谷副会長、荒木委員、木谷委員、指田委員、
高岡委員、林原委員、山浦委員
事務局 星野生活安全課長、久々江課長補佐、北川主任

4 議題

(1) 組織運営事項

ア 会長互選

会長 富山大学経済学部教授 岩田氏

イ 副会長指名

副会長 射水市観光協会 専務理事 荒谷氏

(2) 市内外における自転車活用に関する取組状況について

(3) 今後の自転車活用推進の検討の方向性について

5 委員からの主な意見等

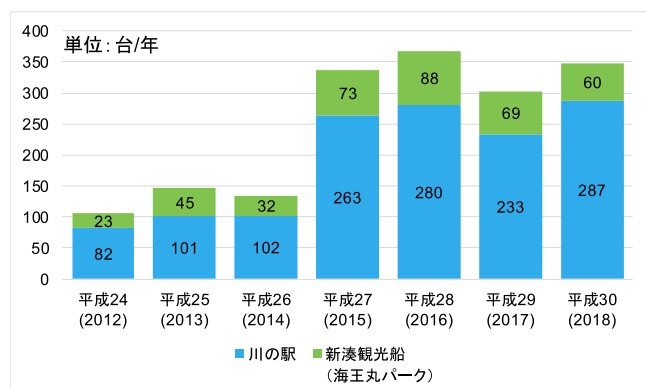
- ・ 道路で自転車に乗ると、やはり車が怖く感じる。中高生の親としても心配になることがある。デンマークに行ったことがあるが、自転車で通過する交差点を青信号で進めるような仕組みを設けたり、自転車用の高速道路を整備したりしている。自転車のラインを設けるなど安心して自転車を利用できる環境が必要と考える。
- ・ 自動車がないと不便なのは確かであるが、普段は公共交通や自転車をうまく使って生活している。冬は路面が凍ると大変危険を感じるが、北欧では冬仕様で自転車に乗っている。
- ・ 自転車販売を古くから営んでいるが、各種イベントにメカニックとして参加したりしている。最近では自動車を購入いただいた方に楽しんでもらえるようイベントを実施している。飽きずに乗ってもらえるよう工夫が必要と考えている。

- 宿泊事業を行っているが、自転車に乗って射水市の自然やまちを感じながら、おいしいものや楽しいことなどを体験して感動を持ち帰ってもらおうと考え、サイクリングツアーも併せて行っている。自転車に乗ることでしか得られないものをもっと周知していくことが自転車の活用につながるのではないか。
- 趣味を生かし、グルメサイクリングツアーのガイドを行っている。遠回りしながらも信号のない道をチョイスすることで、逆にスムーズに走ることができ、裏道を通っていく面白さもある。専用の服装でなくても参加できるなど、普段あまり自転車に乗っていない人も気軽に参加できるような工夫が必要と考えている。
- 県立大学周辺や太閤山ランドへのコース、海王丸パークなどの観光スポットへのコースがあるとよいと思う。学生など若者を中心にInstagramなどSNSを活用するのが有効と考える。
- 射水市には湾岸サイクリングコースと田園サイクリングコースが設けられているが、それら南北をつなぐコースがあればよいのではないか。
- 足洗瀉公園周辺では温浴施設が整備されるので、湾岸サイクリングコースやサイクリングロードなどの自転車利用者にも利用してもらいうようにできるとよいと考える。
- 自転車を利用していないが、普段の生活で気づいたこととして、道路で自転車が走行する青いライン（湾岸&田園サイクリングコースのナビゲーターライン）が消えていたりする。また、かつてあった交通公園が無くなっている。利用しやすい環境を整えていくことが大事ではないか。
- 特に女性からすると、せっかく整えた髪型がくずれるので、自転車に乗るのを避けたくなる。

④ 自転車の活用推進

| | | | | | |
|----------------|---|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 現状・課題 | 現在、市内では、内川や海王丸パーク周辺でのレンタサイクルが行われており、またベイエリアではサイクルステーションも複数設置されています。 | | | | |
| 方向性 | 自転車を公共交通と同様に重要な交通手段の1つと捉え、自転車の積極活用による移動がスムーズになるような環境を整えます。 | | | | |
| 具体的施策 | <p>● 公共交通と連携した自転車の活用推進策の検討</p> <p>公共交通機関の乗り場まで自転車を利用したり、また自転車を輪行袋に入れて公共交通機関を利用したり、サイクルトレインを利用することで、公共交通を補完しながら円滑な移動が可能となります。</p> <p>小杉駅及び越中大門駅を中心とした市民生活の足としての自転車の活用を含め、公共交通と連携した自転車の活用策を検討します。</p> | | | | |
| 実施・関連主体 | 射水市、あいの風とやま鉄道(株)、万葉線(株) | | | | |
| スケジュール | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) | 令和5年度 (2023年度) | 令和6年度 (2024年度) |
| | 自転車活用に係る調査 | | 効果を見ながら継続実施 | | |
| 具体的施策 | <p>● レンタサイクル等の推進</p> <p>内川や海王丸パーク周辺でのレンタサイクルに加え、(仮称)新湊複合交流施設や民間施設等を発着点とし、公共交通を連携・補完しながら、地域資源を生かしたサイクリングを展開することにより、人々の交流をさらに促進します。</p> | | | | |
| 実施・関連主体 | 射水市、民間事業者 | | | | |
| スケジュール | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) | 令和5年度 (2023年度) | 令和6年度 (2024年度) |
| | レンタサイクル等に係る調査 | | 効果を見ながら継続実施 | | |
| 期待される効果 | 公共交通と自転車を組み合わせて「自動車に過度に頼らない交通」の実現により、環境負荷の軽減と健康増進、外出機会の増加を契機とした地域の活性化につながります。 | | | | |

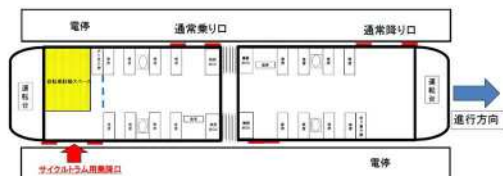
【川の駅新湊と海王丸パークでのレンタサイクル利用状況】



【サイクルトレインの事例】万葉線

万葉線沿線の富山湾岸を自転車で楽しむ観光客などの利便に資するため、低床車両（アイトラム）の車椅子スペースを活用して自転車を持ち込める「サイクルトラム」の取組を行っている。

サイクルトラムについて



※反対側ホームでお持ちください。通常の乗り方は異なりますのでお気を付け下さい。

☆設置例



万葉線でサイクリングに出かけよう！

○期間：2019年4月1日～11月30日

○時間：平日9：00～15：00・土日祝日8：00～17：00

○対象車両：アイトラム（1000型）

○利用方法：2日前までの事前予約をお願いいたします。1回の利用台数は2台までといたします。当面は各日午前、午後1組ずつ先着順とさせていただきます。反対側ホームより乗降頂くことになります。

出典：万葉線ホームページ

【公共交通と自転車の連携事例】黒部市「モビリティハブ」

バス停又は隣接地に駐輪場を併設し、無料公共自転車「ちょいのり黒部」を配備するモビリティハブの整備を進めている。「路線バス」と「自転車」との“結節機能（ハブ）”を持たせ、バス降車後の多様な移動ニーズに対応できる環境を整えることにより、外出意欲を補完し、もって公共交通の利用促進を図ることを目的としている。



出典：黒部市ホームページ